



医療教育開発センター ニュースレター

NEWS LETTER

Contents | 1 巻頭言 2 副センター長の紹介

1 巻頭言



医療教育開発センターは、高度専門医療人や優れた生命科学研究者の育成を目指して、医療系全領域にわたる教育・研究・診療組織がひとつのキャンパスに集約している徳島大学の強みを最大限に活かしながら、医療系3学部・5大学院の連携・共通教育の支援を行っています。大学院教育では、共通科目e-learning、英語プログラム、Tokushima Bioscience Retreat、教育クラスターの支援を行います。学部教育では、チーム医療入門、学部連携PBLチュートリアル、チーム医療臨床実習の3ステップで構成される専門職連携教育、スキルス

医療教育開発センター長 赤池 雅史

ボを拠点としたシミュレーション教育、模擬患者参加による医療コミュニケーション教育の充実に取り組みます。また、徳島大学病院と連携した卒前卒後一貫の低侵襲手術手技トレーニングプログラム、理工学部等と連携した医光融合人材育成にも取り組みたいと思います。医歯薬学共創センター(仮称)構想により、新スキルスラボを含め蔵本地区の教育・研究環境の飛躍的な充実が期待されており、その環境を活かして組織・領域横断的な医療系教育のさらなる充実を目指したいと考えています。皆様のご指導ならびにご支援をよろしくお願い致します。

2 副センター長の紹介



大学院医歯薬学研究所 医学域医科学部門 医療教育学分野 准教授
西田 憲生

医療教育では、初年次から垂直・水平連携教育、さらに職域連携(チーム医療)教育が求められております。シミュレーション教育を効果的に用いて、座学で覚えた知識を、実践で使える知識へと昇華できる場を提供し、「人」を統合的に診る感性を育む支援をしていきたいと思っております。また、蔵本キャンパスの強みである多職種連携のプログラムの支援にも尽力してまいります。



大学院医歯薬学研究所 薬学域薬科学部門 創薬理論化学分野 教授
立川 正憲

薬学部は、チーム医療の一員として、薬を取り巻く問題解決能力を備えた薬剤師、及び創薬・操薬分野での高い研究能力を身につけた研究者の育成を担っています。医療専門職連携教育を通して、薬学の強みを生かしながら、地域的かつ世界的視野で活躍できる人材の育成に取り組んで参ります。



教養教育院 医療基盤教育分野 教授
岩田 貴

本年度から卒後臨床研修センター長を拝命しました。専門医の経験を生かして、初年次から高学年・研修医・生涯教育まで一貫したシームレスな医療教育に携わっております。新型コロナ禍に対応した新しいシミュレーション教育などを研究・実践しています。



大学院医歯薬学研究所 医学域栄養科学部門 生体栄養学分野 教授
二川 健

超高齢社会になった我が国では、「食」の重要性が高まっています。医科栄養学科は、医学部内にある栄養という特殊性をいかして、最先端の社会のニーズに対応できる人材育成を目指しています。例えば、宇宙栄養研究センターとも連携し、宇宙食、災害食や抗老化食などに高度な専門知識を有する栄養人の育成を行っています。2023年度には宇宙専門管理栄養士コース(仮称)を大学院に設置する予定です。



大学院医歯薬学研究所 歯学域口腔科学部門 顎機能咬合再建学分野 教授
松香 芳三

歯学部は四国において唯一の歯科医師養成組織であり、歯科医療教育の中心的役割を果たしています。また、口腔保健学科では優れた歯科衛生士・社会福祉士を養成しております。医療教育開発センターにおいては他学部と密に連携し、多職種連携を実践可能である優れた歯科医療者・歯科医学研究者を輩出できるように尽力したいと考えております。



大学院医歯薬学研究所 保健学域保健科学部門 臨床腫瘍医療学分野 教授
近藤 和也

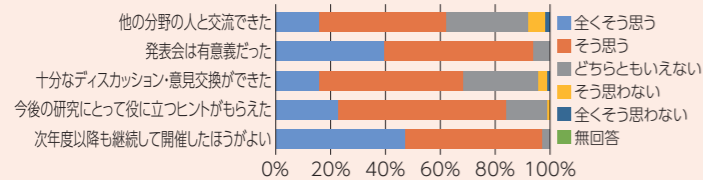
保健科学研究科は、高度専門医療人(がん専門看護師、助産実践コース、養護教諭専修免許、医学物理士コース)を育成するプログラムを有し、たくさんの大学院生が入学し、多職種カンファレンスやシミュレーション教育(スキルスラボを使用)を行っています。現在、国際連携大学院共同学位プログラムを開設し(シリマン大学、セントポール大学)、海外留学生も増え、英語プログラムの講義に参加しています。これからも医療教育開発センターの発展に尽力していきたいと思っております。

組織横断型教育クラスターによる大学院教育支援

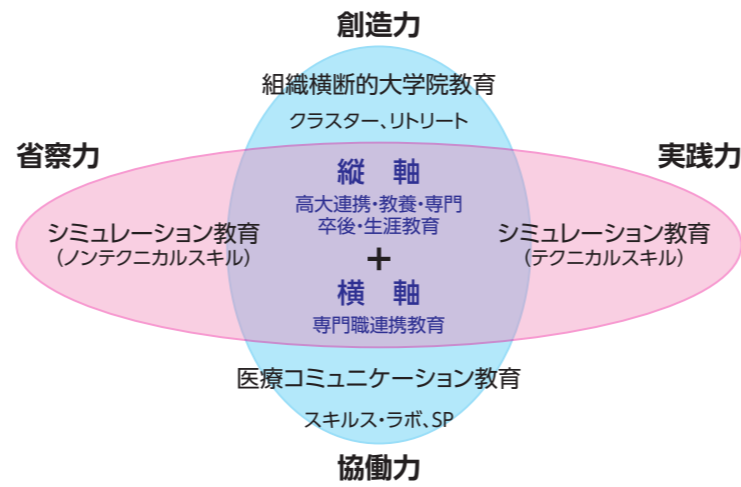
- ①コアセミナー開催支援(2021年度30回開催)
各クラスターが主催する講演会をコアセミナーとして学内の大学院生に紹介しています。
詳細:https://www.hbs-edu.jp/effort/education_support/education-core
- ②6クラスターそれぞれが開催するミニリトリート開催支援
2021年度に引き続き、COVID-19感染症対策としてWebを活用し開催しています。Web開催により海外在住の講師参加も実現しています。



日時	開催方法	ミニリトリート参加人数(人)					
		院生	学部生	教員	講師	計	
感染・免疫	2021.12.21	Zoom開催	35	0	15	1	51
発生・再生・遺伝	2021.12.21	Teams開催	19	0	6	0	25
心・血管	2022.1.9	Zoom、対面のHybrid開催	13	9	17	1	40
肥満・糖尿病	2022.1.21	Zoom、対面のHybrid開催	25	1	31	1	58
骨・筋とCa	2022.2.18	Zoom開催	15	0	16	1	32
脳科学	2022.2.23	Teams開催	14	6	20	1	41
計			121	16	105	5	247

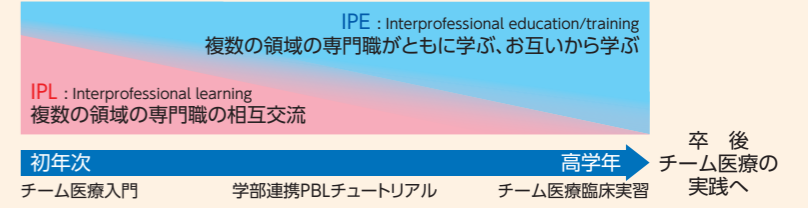


研究科共通カリキュラム科目 e-learning運営支援
manaba(mediasite)を活用し、9科目のコンテンツ撮影、編集、配信を支援しています。



医療系学部における専門職連携教育支援

＜専門職連携教育の目標＞
・医療専門教育を受けているすべての学生が、より安全で、より質の高い医療を提供するためにともに学び、お互いから学びあう。

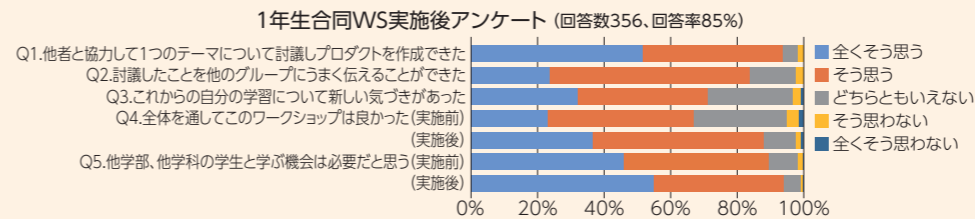


①第15回チーム医療入門～蔵本地区1年生合同WS～

医療人を目指す学生が相互理解を深め、将来円滑なチーム医療を行える基盤形成を目的として、蔵本地区の1年生全員を対象としたWSが毎年開催されています。2021年度は昨年引き続き、COVID-19感染症対策としてZoomにて開催しました。

テーマ 新型コロナウイルス感染症をどう乗り越えるか
基調講演 新型コロナウイルスについて
講師 吾妻雅彦先生(医療教育開発センター/副センター長)

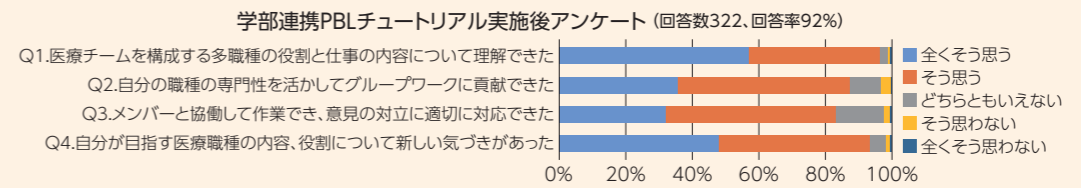
日時 2021年9月30日(木) 13:00-16:30
到達目標 他者と協力してテーマについて討議(意見交換)し、プロダクトを作成できる。グループで討議した結果を、他のグループにプレゼンテーションできる。今後の自分の学習の在り方について、新たな気づきを得ることができる。
参加学生数 418名



②第9回学部連携PBLチュートリアル

1年生合同WSに続く専門職種連携教育として、患者シナリオを用いた学部連携PBLチュートリアル教育が行われています。今年度はCOVID-19感染症対策としてZoomを活用し、多学科学生が混在するグループに分かれてWSを行いました。

日時 2021年10月27日(水) 9:00-12:00
内容 提示されたシナリオ患者について、プロブレムマップを作成し、ケアプランを立案する。Zoomのブレイクアウトルームを活用して討議・発表を行う。
参加学生数 347名
医学科4年121名、歯学科4年44名、口腔保健学科3年15名、医科栄養学科3年51名、保健学科看護学専攻4年72名、保健学科放射線技術科学専攻4年36名、保健学科検査技術学専攻6名、薬学部5年2名



臨床技能学習施設(スキルス・ラボ) Clinical Skills Laboratory(CSL)

①低侵襲手術トレーニングプログラム

徳島大学では優れた外科医を養成する卒業一貫教育として、各種シミュレータを備えたスキルス・ラボ、生豚に対応したメディカルトレーニングラボ、未固定遺体に対応したクリニカルアナトミーラボを活用し、「未固定遺体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低侵襲手術トレーニングプログラム」に取り組んでいます。医療教育開発センターでは岩田貴副センター長が中心となり、医学科臨床実習学生を対象に高機能シミュレータを用いた腹腔鏡手術手技実習を行っています。



②中心静脈カテーテル(CVC)挿入個別講習会(シミュレーション教育)



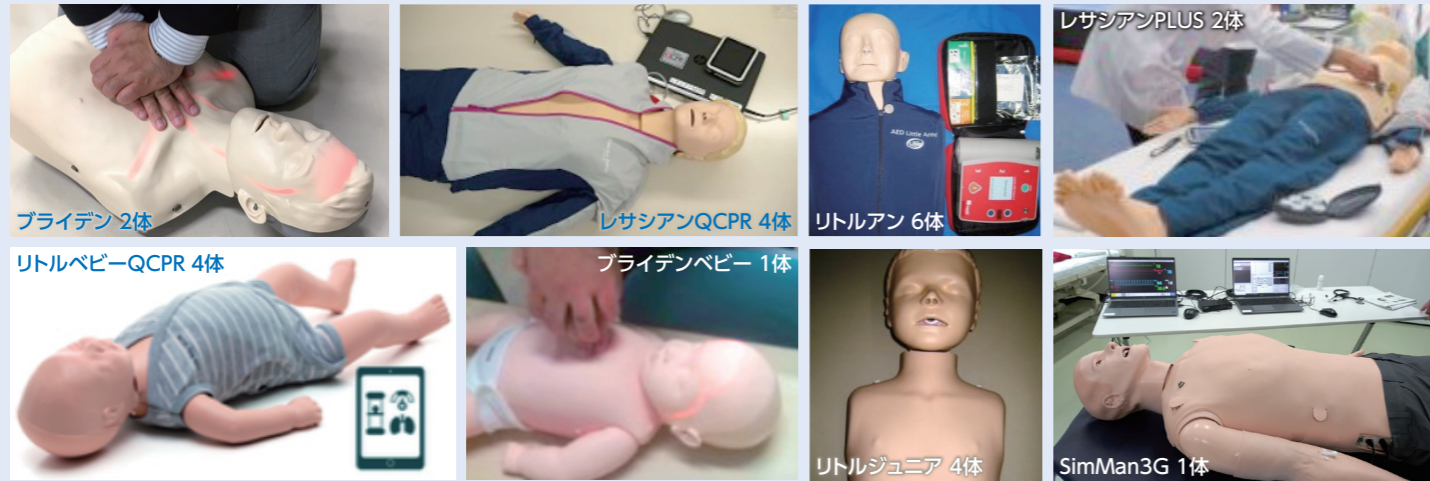
超音波ガイドを使用した中心静脈カテーテル挿入方法、およびその介助方法を習得する講習会です。毎月2回、定員2-3名で開催されており、少人数で効果的に学ぶことができます。ビデオフィードバックを用いて、自分の手技を客観的に見直すことができます。徳島県下の病院研修医が受講でき、2021年度は徳島大学研修医の他、徳島県立中央病院研修医のべ16名、吉野川医療センター研修医のべ12名が参加しました。

2021年度実績 受講者のべ人数:54名
受講者所属施設:徳島大学病院、吉野川医療センター



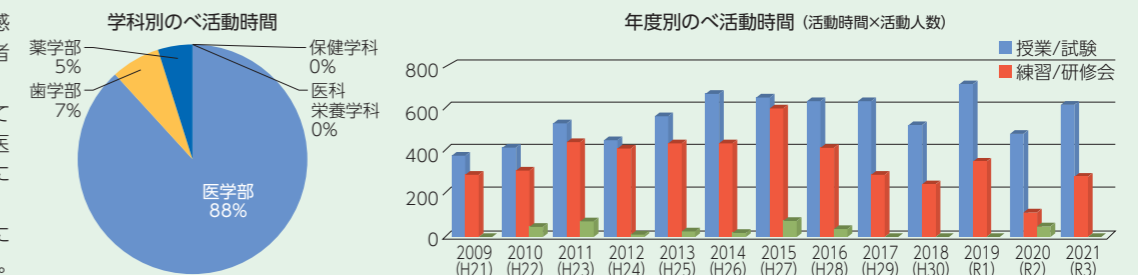
③シミュレータのご案内

フィードバック機能を備えた救急蘇生シミュレータが揃っています。CPRの質を確認でき、学習者のトレーニング向上に役立ちます。どうぞご利用ください。



医療コミュニケーション

2021年度に引き続き、COVID-19感染症対策として65歳以上の模擬患者活動を中止しています。大学院生によるTAを模擬患者として養成し一般市民の模擬患者と共に、医学科、歯学科、薬学部の授業や実習に参加しました。模擬患者としての経験は大学院生にとっても、貴重な経験になっています。



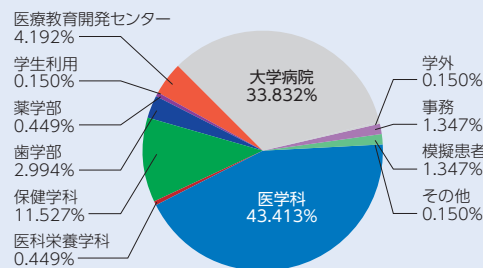
医療教育関係の発表実績

- 論文**
●青木 理紗、高石 和美、西川 美佳、藤原 茂樹、長宗 雅美、赤池 雅史、河野 文昭、川人 伸次。心肺蘇生教育に用いる気道管理シミュレータ4種類の気管挿管手技における比較 日本歯科医学教育学会雑誌 38(1):63-68, 2022
- 学会・研究会**
●青木 理紗、高田 真里菜、篠島 理、西川 美佳、大塚 拓、藤原 茂樹、江口 覚、長宗 雅美、赤池 雅史、高石 和美、北畑 洋。気管挿管手技における気道管理シミュレータ4種類の比較 第49回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 2021年10月9日(土)~11月7日(日)、オンライン
●長宗 雅美、吾妻 雅彦、岩田 貴、赤池 雅史。医療系専門職連携教育におけるオンラインワークショップの試み 第17回大学教育カンファレンスin徳島 2022年1月7日、オンライン
●西田 憲生、清水 真祐子、吾妻 雅彦、常山 幸一、赤池 雅史。オンラインPBLチュートリアルの実施から見えてきた課題 第53回日本医学教育学会大会 2021年7月31日、オンライン



スキルス・ラボは蔵本キャンパスのほぼ中央に位置し、各種の手技に対応できるシミュレーション教育機材(Simulator)が数多く設置されています。基本的～専門的な医療技術・技能(テクニカルスキル)とともに、状況把握やコミュニケーション、チームワークといったノンテクニカルを学ぶ場として学内医療系各学部生だけでなく、徳島大学病院や関係医療機関等で医療に携わる人々に利用されています。

2021年度 所属別利用件数の割合(668件、のべ9,563名)



徳島大学の職員であればどなたでもID/Passを取得しスキルス・ラボの部屋/物品を利用できます。

*学生による個人利用はできません。指導教員、職員を介して利用してください。

[ID/Passの取得方法]

- 1 徳島大学医療教育開発センターのHP <https://www.hbs-edu.jp/>
- 2 [スキルス・ラボ]をクリック
- 3 [スキルス・ラボの利用予約はこちら]をクリック
- 4 <お知らせ>が表示された場合、確認してOKをクリック
- 5 [新規登録したい方はこちら]をクリック
- 6 必要事項を入力し[確認画面] → [申し込む]
- 7 システムから登録完了のメール連絡が届きましたら使用可能です。時間外(オフィスアワー平日9:00-17:00)の申し込みの場合、連絡が後日になることがあります。



1



[部屋/物品の利用方法]

- 1 部屋の選択
物品貸出しのみ希望の場合、部屋を利用しないを選択し、使用場所を記入してください。ページ右上の予約カレンダーから部屋の予約状況を確認できます。赤く表示されている部分はすでに予約されています。
- 2 使用日時入力
入力は1日単位で入力してください。物品のみの貸し出しは複数日でも可能です。
- 3 使用物品入力
すでに申し込みがあり利用できない場合、赤い警告が出ます。使用日時、個数等を検討して下さい。
- 4 利用詳細、予定人数を入力
- 5 申し込み



利用後、実際の利用人数を入力 利用実績の把握にご協力ください。

*利用をキャンセルしたい場合、ご自身の画面から削除できます。利用日近くになると削除ボタンが表示されませんので、電話にてご連絡ください。
*ご不明な点はスキルス・ラボ 088-633-7533(内線9631)までご連絡ください。